

母性看護学方法論Ⅰ	2年・前期	2単位	准教授 西川 明美 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210782

1. 授業のねらい・概要

本科目は、妊娠期・分娩期における母性の身体的、心理的・社会的特徴を捉え、対象のニーズ・健康問題への援助について学習する。さらに、胎児の身体的特徴を踏まえて健康状態を把握し、胎外生活への適応促進のための看護を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 妊娠のメカニズムを理解できる。
2. 妊娠による女性の身体的変化および精神心理・社会的変化を理解できる。
3. 胎児の発育・発達を理解できる。
4. 妊婦健康診査および妊娠中の保健指導の必要性和内容が理解できる。
5. 分娩のメカニズムを理解できる。
6. 分娩各期の看護が理解できる。
7. 異常妊娠・分娩の看護が理解できる。

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが、グループワークと演習を取り入れて行う。

4. 授業計画

1. 妊娠のメカニズム・妊娠期の特性（西川明美）	9. 産婦・胎児，家族のアセスメント（西川）
2. 妊婦と胎児のアセスメント（西川）	10. 産婦と家族の看護（西川）
3. 妊婦と家族の看護（健康診査と保健指導）（西川）	11. 分娩期の異常と看護（西川）
4. 妊娠期の異常と看護（西川）	12. 演習内容の説明・演習事前課題（西川）
5. 妊婦の保健相談・グループワーク（西川）	13. 演習：妊娠・分娩期の看護技術（西川）
6. 妊婦の保健相談の実際（ロールプレイ）（西川）	14. 演習：妊娠・分娩期の看護技術（西川）
7. 分娩の要素（西川）	15. 演習のまとめ（西川）
8. 分娩の経過（西川）	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，演習態度・課題レポート30%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト 森 恵美他(2019)：系統看護学講座 母性看護学〔2〕母性看護学各論 医学書院
横尾 京子他(2019)：ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 第4版 母性看護技術 メディカ出版

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業の範囲をテキストで最低1時間の予習をして臨み、授業内容について1時間以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

母性看護学実習Ⅰ，母性看護学実習Ⅱの先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容を確認して返却する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得出来ない場合進級不可となる。